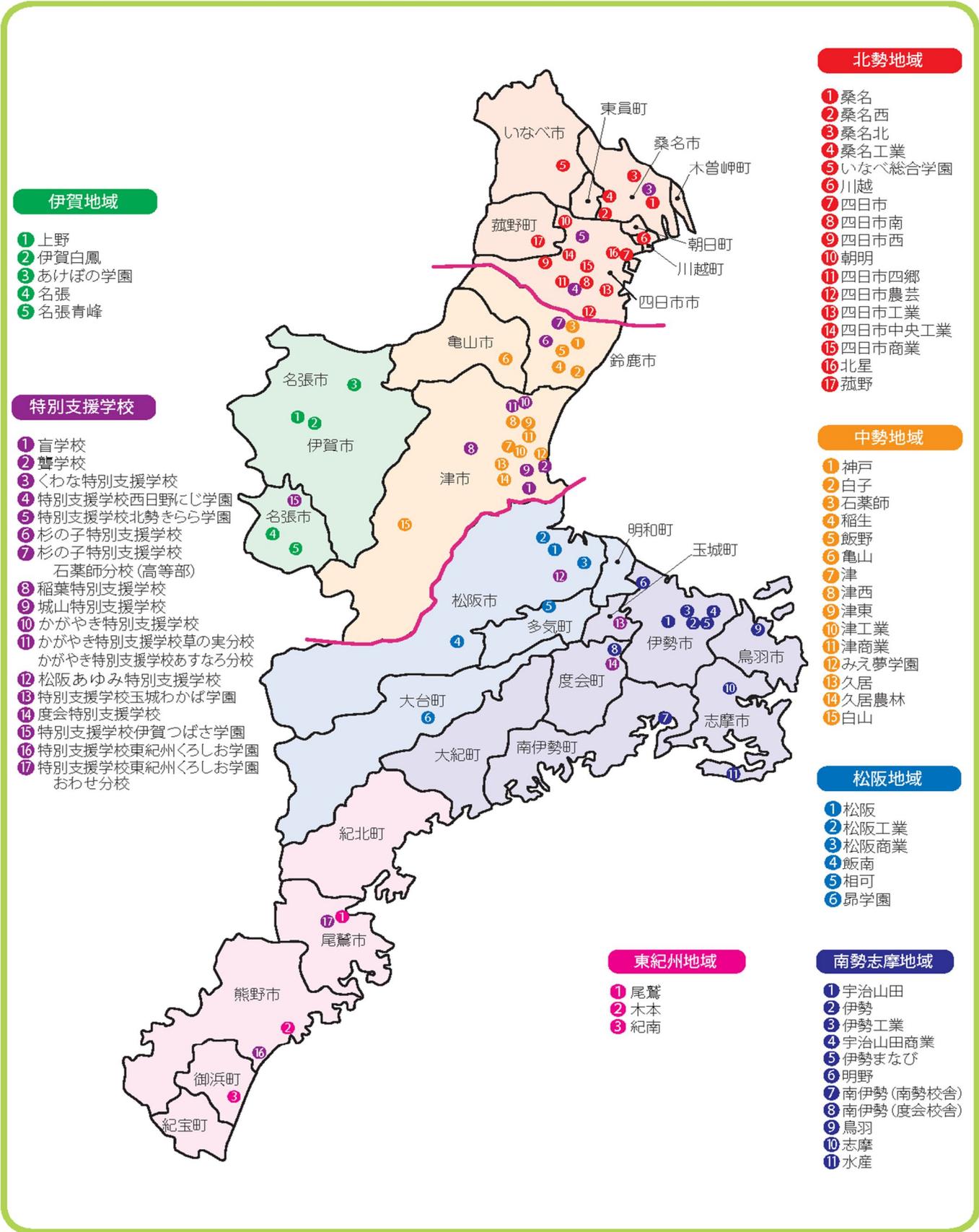


県立高等学校における基礎データ

<県立学校の所在地>

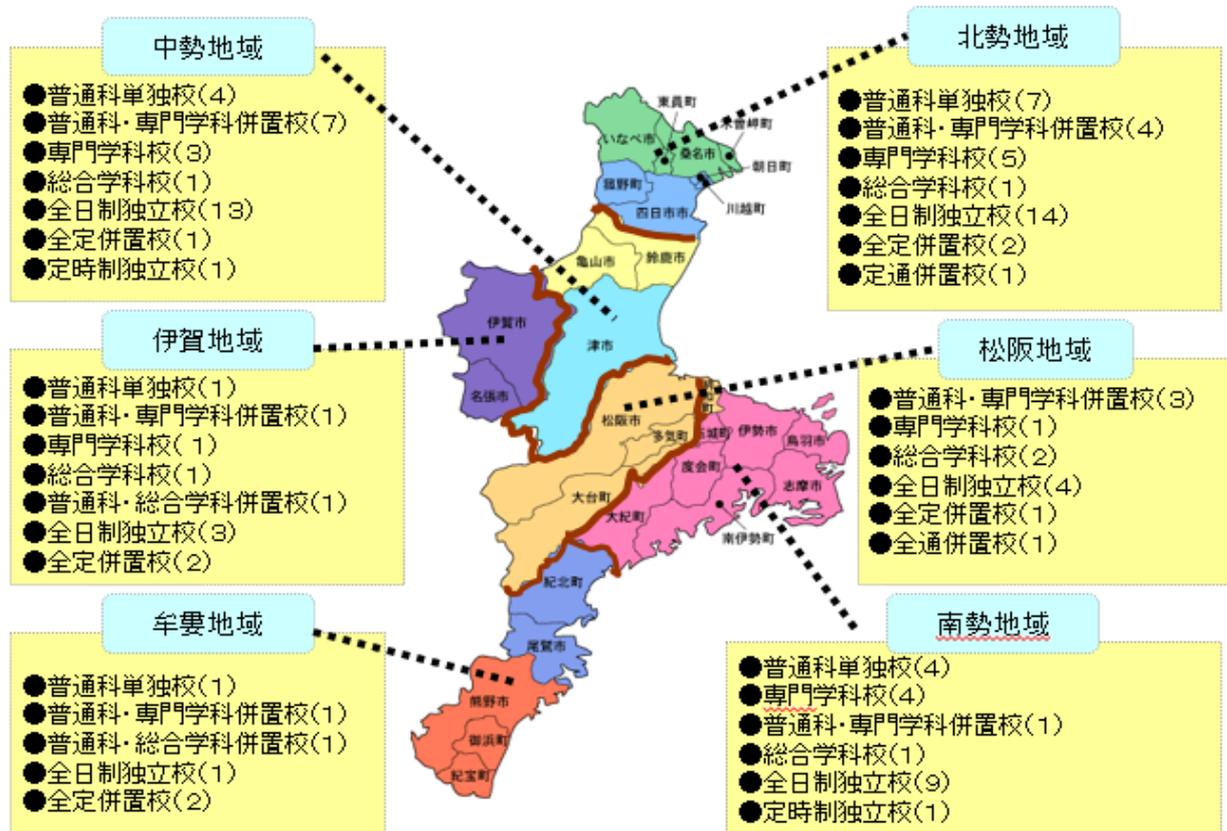


<県立高等学校の教育課程による分類> (令和2年4月入学生)

全日制課程		定時制課程
普通科		桑名、北星【単】、飯野【単】 松阪工業【単】、 伊勢まなび(昼間部)【単】、 上野、名張【単】、尾鷲【単】、 木本【単】
	コース制	
専門学科	農業	四日市農芸、久居農林、相可、明野、伊賀白鳳(生物資源・フードシステム)【単】
	工業	桑名工業、四日市工業、四日市中央工業、津工業、松阪工業、伊勢工業、 伊賀白鳳(機械・電子機械 建築デザイン)【単】、尾鷲(システム工学)【単】
	商業	四日市商業、津商業、白山(情報コミュニケーション)、宇治山田商業、松阪商業【単】、 伊賀白鳳(経営)【単】、尾鷲(情報ビジネス)【単】
	水産	水産(海洋・機関、水産資源)
	家庭	四日市農芸(生活文化)、白子(生活創造)、亀山(総合生活)、久居農林(生活デザイン)、 相可(食物調理)、明野(生活教養)
	看護	桑名(衛生看護)
	情報	亀山(システムメディア)
	福祉	朝明(ふくし)、明野(福祉)、伊賀白鳳(ヒューマンサービス)【単】
	その他	桑名(理数)、川越(国際文理)、神戸(理数)、稲生(体育)、 飯野(英語コミュニケーション・応用デザイン)、津西(国際科学)【単】、松阪(理数)、 松阪商業(国際教養)【単】、上野(理数)
	総合学科	いなべ総合学園、飯南、昂学園、鳥羽、あけまの学園、名張、木本【すべて単位制】
		通信制課程
		普通科
		北星【単】、松阪【単】

※【単】は単位制

<学校数と配置> (令和2年度)



全日制 (校舎数)	定時制 独立校	定時制・通信制 併置校	全日制・定時制 併置校	全日制・通信制 併置校
53 (54)	2	1	8	1

普通科、職業系専門学科、総合学科を県内各地域に配置。

全日制における総合学科（7校）のうち、いなべ総合学園（R3年度から7学級）と名張（R3年度から5学級）以外は1学年2クラス以下の小規模校となり、生徒のニーズに応じた多様な科目選択の開設が困難。

<在籍生徒数>（令和2年度5月1日現在）

（1）全日制

学科名	生徒数
普通	18,702
農業	1,647
工業	4,420
商業	2,919
水産	197
家庭	929
看護	120
情報	237
福祉	356
理数	714
体育	221
英語	463
その他	578
総合学科	2,515
計	34,018

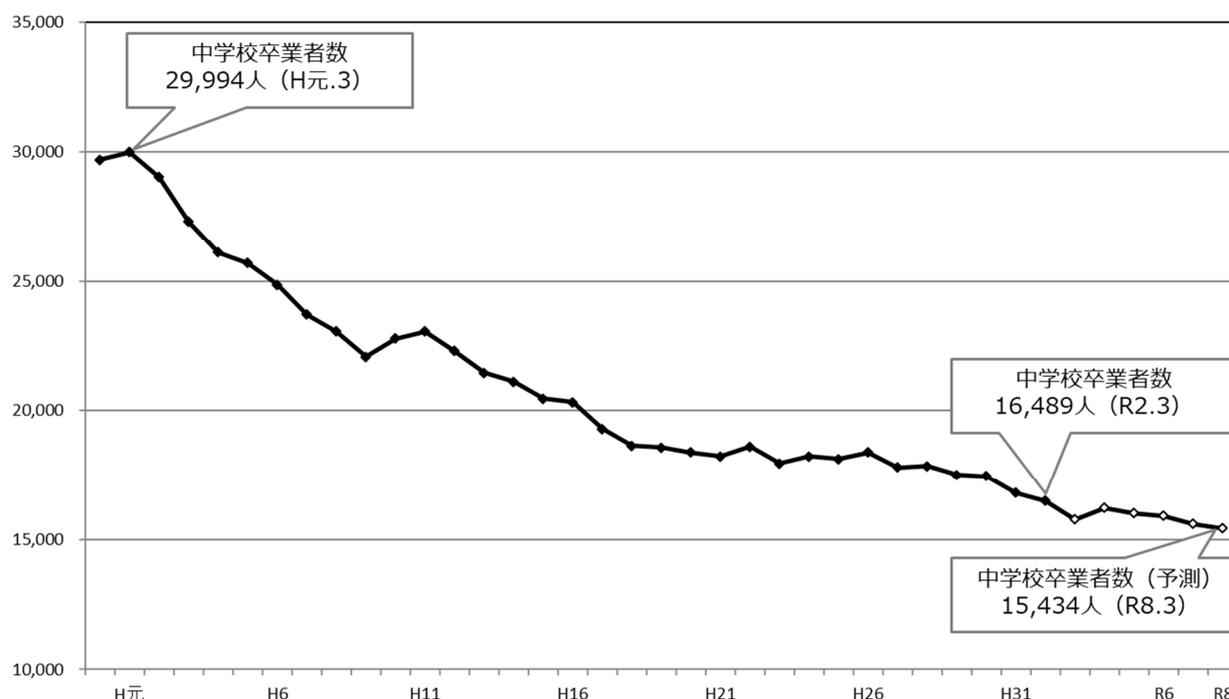
（2）定時制

学科名	生徒数
普通科	849
工業学科	167
商業学科	144
総合学科	465
計	1,625

（3）通信制

学校名	生徒数
北星	931
松阪	1,246
計	2,177

<中学校卒業生数の推移>



<学校（校舎）数と学級規模>（令和2年度入学生<全日制課程>）

地域名	校数（校舎数）							学校数
	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	
桑名・いなべ			1	1		1	2	5
四日市			1	3	2	1	4	11
鈴鹿・亀山		1	1	1	2		1	6
津		1			3	1	3	8
松阪	2		1	1	1		1	6
伊勢志摩	4(5)		2	1	1	1		9(10)
伊賀	1		1			3		5
尾鷲・熊野	1		1	1				3
計	8(9)	2	8	8	9	7	11	53(54)

現「県立高等学校活性化計画」で示す本県の県立高等学校の望ましい学校規模は、1学年3～8学級

全日制課程を置く県立高校の設置数は、平成元年度の62校（含分校）から、平成31年度には54校（含分校）となり、1校あたりの平均学級数が7.82学級から5.43学級に減少
令和2年度における1学年2学級以下の高等学校は、計画初年度の平成29年度の5校6校舎から最終年度の令和3年度には8校9校舎に増加

活性化の取組により、各地域では地域を学び場とした課題解決型の学習が広がるとともに、地域の支援を受けた補習等による大学進学の実現、高校と地域との交流・連携などが進展。一方で、各小規模校への入学者数は、活性化期間前の平成29年度と令和2年度の入学者選抜を比較すると、小規模校9校10校舎全体での募集定員は120名減、欠員の合計は94人から165人に増加

<県立高等学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒>（日本国籍を含む）

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	5年間の増加
高等学校	人数	202人	228人	235人	254人	253人	262人	+60
	増減数		+26	+7	+19	-1	+9	(+29.7%)

令和2年度調査における高等学校に在籍する日本語指導が必要な外国人生徒は、262人で、前回調査より9人増加。

多言語翻訳機（29か国語対応）を外国人生徒が多数在籍する3校（北星、飯野、みえ夢学園）に1台ずつ配備。少数在籍する学校においては、外国人生徒支援専門員を派遣するなどに対応。

<不登校児童生徒数の推移と1,000人あたりの人数>（平成30年度 全国は国公立）

			H26	H27	H28	H29	H30
高等学校	全日制	(人)	357	371	334	343	430
	定時制	(人)	229	213	219	195	240
	合計	(人)	586	584	553	538	670
		(1,000人あたり)	14.8	14.9	14.2	14.1	17.7
全国		(1,000人あたり)	15.9	14.9	14.6	15.1	16.3

平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」において、県内の公立高等学校の不登校児童生徒数は670人（全日制430人、定時制240人）と増加傾向であり、そのうち、90日以上欠席している不登校児童生徒数は161人（全日制

60人、定時制101人)。そのうち、教員(養護教諭以外)を除いてどの相談機関等ともつながっていない不登校児童生徒は59人(全日制10人、定時制49人。不登校児童生徒の8.8%)

県立高等学校や特別支援学校では、担任や養護教諭、教育相談担当教員を中心に不登校児童生徒本人や保護者への連絡・相談対応等の寄り添う支援や、教育相談週間の設定・児童生徒に関する情報交換会の実施等教育相談体制の整備に取り組むとともに、必要に応じて、スクールカウンセラーや医療機関等につなぐなどの支援を実施。

<「学校生活についてのアンケート」>(各校各課程別の2年次生40名程度)

調査対象 各校課程別の2年生1クラス(40名程度)		(%)					
質問項目		よく、十分	だいたい	あまり、ほとんど	まったく、ほとんど	肯定的意見	否定的意見
1 授業内容がよくわかりますか	H28	13.8	65.3	17.1	3.8	79.1	20.9
	H29	13.2	67.5	16.8	2.5	80.7	19.3
	H30	15.2	67.1	14.6	3.2	82.3	17.8
	R01	13.5	67.8	16.2	2.5	81.3	18.7
	R02	18.4	66.9	12.9	1.9	85.2	14.8
2 授業では、話合う活動などを通して、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	R01	16.0	57.5	21.7	4.7	73.5	26.5
	R02	20.0	57.7	18.4	4.0	77.6	22.4
3 勉強でわからないところがあるとき、先生に気軽に聞くことができますか	H28	19.2	48.3	23.3	9.2	67.5	32.5
	H29	18.7	49.6	24.4	7.3	68.3	31.7
	H30	18.4	48.4	25.8	7.4	66.8	33.2
	R01	17.5	48.4	26.7	7.4	66.0	34.0
	R02	20.6	49.7	24.4	5.3	70.3	29.7
4 困ったことや心配事などを、先生や友だちに相談することができますか	H28	30.5	51.8	11.4	6.3	82.3	17.7
	H29	31.1	51.7	11.7	5.5	82.8	17.2
	H30	33.3	50.6	11.2	4.9	83.9	16.1
	R01	30.4	52.4	11.3	5.8	82.9	17.1
	R02	35.3	51.0	9.8	3.9	86.3	13.7
5 学校生活を送る中で、安心して学習することができますか	H28	33.4	55.7	7.7	3.2	89.1	10.9
	H29	35.1	55.1	7.3	2.5	90.2	9.8
	H30	35.5	53.8	8.3	2.3	89.3	10.6
	R01	33.9	55.0	8.3	2.8	88.9	11.1
	R02	41.9	50.9	5.9	1.3	92.8	7.2
6 目標の達成をめざして、学習などができていますか	H28	14.3	50.2	27.2	8.3	64.5	35.5
	H29	13.1	52.1	28.7	6.1	65.2	34.8
	H30	14.8	51.8	26.7	6.7	66.6	33.4
	R01	14.2	51.8	27.0	7.1	65.9	34.1
	R02	18.3	52.8	23.2	5.7	71.1	28.9
7 困難だと思っても、前向きに考えて挑戦していますか	H28	17.8	53.6	22.8	5.8	71.4	28.6
	H29	16.9	57.1	21.1	4.9	74.0	26.0
	H30	18.4	56.5	19.3	5.9	74.9	25.2
	R01	16.9	54.9	22.6	5.6	71.8	28.2
	R02	21.7	55.5	19.1	3.6	77.3	22.7
8 社会の一員として権利を行使し、義務と責任を果たそうと考えていますか	R01	25.6	46.0	22.4	6.0	71.6	28.4
	R02	28.8	46.8	20.0	4.5	75.5	24.5
9 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	R01	10.9	42.0	33.5	13.5	52.9	47.1
	R02	12.5	41.2	33.5	12.7	53.8	46.2

「5 学校生活の安心感」については、普通科、専門学科、総合学科を問わず、肯定的な意見が9割超。

<授業の1単位時間の弾力的運用に係る実施状況>

授業の1単位時間	実施校・年度	計
65分	松阪(H12~) 四日市(H14~) 津(H14~) 上野(H28~)	4校
90分	昴学園(H7~)	1校
50分&90分	あけぼの学園(H21~) いなべ総合学園(H25~)	2校
45分	伊勢(H15~) 神戸(H19~)	2校
45分&50分	四日市南(H14~)	1校
計		10校

総合的な探究の時間の目標の実現のためには、教科等横断的な学習を自己の在り方生き方に関連付け、探究のプロセスをとおして行う必要があることから、50分を超えて設定する学校も存在。

学科の枠組みを超えた探究学習等を実施する場合は、授業の開始時間を揃えたり、授業時間を合わせたりするなど、学校間での調整が必要。

<県立高等学校卒業生(全日制、定時制、通信制)の進学率、就職率の推移>

